

第31回バス東北本部定期委員会開催

ジェイアールバス東北本部は、2018年7月13日（金）12時30分から、仙台市「ホテル白萩」において、第31回定期委員会をご来賓、委員、傍聴合わせて50名にて開催、2018年度運動方針を採択、また、委員16名の発言により成功裏に終了しました。

冒頭、勝山議長からのあいさつで、この間の18春闘における時系列と「おかしいことをおかしい」と発言できなかったことに対する謝罪と、各分会に対し「大変な想いと苦労でたたかっている分会への感謝と労をねぎらう」言葉があり安全を最優先に団結を勝ち取っていかうと挨拶がありました。



【バス東北本部 勝山議長】



【中央本部 加藤書記長】

16名の委員から、2017年度の運動の成果とたたかひの報告、また、職場の問題点等の発言があり、白沢分会からは東労組の重要性を職場集会で打ち出し大きな団結と成果を得た。また、仙台分会からは仙台⇄いわき便の経路変更で、安全が担保できていない状況で、組合員は非常に不安であること、また、各分会から55歳以上の定期昇給確保、60歳以上の雇用の在り方、36条協定違反の撲滅、泊所の問題、要員問題等、私たち組合員全員に関わる多くの発言があり今定期委員会は運動方針に各分会の発言により、更に具体化しました。



【バス東北本部 佐藤事務長】

今、定期委員会に多くのご来賓がご参加下さいました。

中央本部 加藤書記長、井上業務担当部長
秋田地本泉委員長、盛岡地本石崎副委員長、
仙台地本皆本委員長、バス関東本部遠山議長、
東川事務長、本部バス分科会山本会長

加藤書記長からのあいさつで、東労組の現状、たたかひの報告等あいさつを頂きました。

【青森分会 江良分会長】



委員会の議事を終了し、中央本部井上業務担当部長から感想をいただき、バス本部佐藤事務長の総括答弁では「生まれ変わった東労組に集結し、JR東労組組合員の労働条件向上、組合員と家族の幸せのため総結集しよう」との力強い答弁がありました。

最後は、全員で組合歌合唱と勝山議長の団結ガンパロウで成功裏に終了しました。

今後、各発言を精査し、バス東北会社に申し入れを行います。